

●先端研究センター Advanced Research Center

1. 所属構成員等

教授 中原 賢, 辻村 麻衣子 (併任)

2. 研究テーマ

1. 骨造成, 骨膜の伸展における骨形成の評価 Evaluation of bone formation induced by bone augmentation and periosteal distraction
2. 垂直的骨欠損に対しての骨造成とインプラント同時埋入の評価 Evaluation of vertical augmentation and simultaneous implant placement in atrophic alveolar ridges
3. 骨造成やインプラント植立におけるコラーゲンメンブレンの有効性の検証 Evaluation of effectiveness of collagen membrane for bone augmentation and implantation
4. 骨造成における人工骨の比較研究 Comparative study of bone substitutes on bone augmentation
5. インプラント周囲骨の生物学的安定性に関する組織学的研究 Histological study on biological stability of the bone surrounding an implant
6. 味蕾の免疫組織化学的研究 Immunohistochemical study of the taste bud

3. 今年度の研究上の特筆すべき事項

学会賞

記載事項なし

特許

記載事項なし

4. 学位取得者

記載事項なし

5. 主催学会等

記載事項なし

6. 国際交流状況

1. 中原賢は 辻村麻衣子らとともに、2012年11月からスイス・ベルン大学と「骨造成に関する組織学的解析」の共同研究を行っている。

7. 外部研究費

1. 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究(C), (新規), 2024～2027年度, インプラントの長期安定を目指した新規標的受容体TRPV1による骨代謝調節法の開発, 辻村麻衣子(羽下麻衣子)(代表), 中原 賢, 今井あかね(分担), 2210000円
2. 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究(C), (新規), 2024～2027年度, フルバスタチンを用いて薬剤関連顎骨壊死を予防する新たな治療法の開発, 小林英三郎(代表), 中原 賢(分担), 1560000円

8. 研究業績

A. 著書

記載事項なし

B. 原著

1. Inoko S, Katagiri H, *Tsujiura M, Yoshie S. The existence of cells exhibiting characteristics of both Type II and Type III cells in rat taste buds. An immunohistochemical and electron-microscopic study. ☆◎Odontology. 2025; 113: 126-134. doi : 10.1007/s10266-024-00948-8. (学位論文)

C. 解説・総説

記載事項なし

D. 報告・紀要

1. 辻村麻衣子. 教授紹介. KOYU Times. 2024; 48: 3.

E. 翻訳

特記事項なし

F. 学術大会(口演・ポスター発表)・講演会・研究会・研修会等での講演

1. 辻村麻衣子. 味蕾の構造. 第44回日本歯科薬物療法学会 学術大会, 新潟市, 2024年7月13日
2. 中原 賢. 歯学部現状と本学の立ち位置. 富山県校友会 懇親会、学術講演会, 富山市, 2025年1月26日

G 講演

1) 特別講演・シンポジウム等での講演

記載事項なし